

T&M通信

～税務と経営～

2021年9月号

今月の経営チェックポイント✓

□秋の全国交通安全運動 9月21日(火)～9月30日(木)の10日間です。交通取締りが強化されますので、充分お気をつけ下さい。

□9月、10月決算法人の方は、賞与等決算の対策の準備をして下さい。

□9月20日(月)は敬老の日、9月23日(木)は秋分の日です。



着眼点 「 やはり厳しかった事業再構築支援金 」

税理士 亀元 祐希

今年から公募が始まった事業再構築支援金(※)ですが、先日第1回目の公募の採択結果が公表されました。募集段階から要件の厳しさよりなかなか採択は難しいであろうと予想されていましたが、その通り、緊急事態宣言特別枠(緊急事態宣言下にある事業者向けで補助率が通常よりも大きい)での募集では5,181者中2,866者が採択、その他の枠(通常枠、卒業枠、グローバルV字回復枠)では17,050者中5,150者と全体の採択率は約36%という結果でした。

(※)ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために中小企業等の事業再構築を支援し、日本経済の構造転換を促すことを目的として、新分野展開、事業転換、業種転換、業態転換、又は事業再編という思い切った事業再構築に対する補助金制度(中小企業庁HPより)。

これまでコロナ禍においては持続化給付金、家賃支援給付金、小規模事業者持続化補助金等複数の施策が進められてきましたが、これまでの施策は資本金や売上高等、客観的な基準値が要件になっていたこともあり採択率はかなり高いものでした。他方、今回の事業再構築支援金は新規事業等に関する事業計画という各事業者の主観が入り込むもののため、採択率も伸びなかったと予想されます。なお、今回の事業再構築支援金の公募については、不採択となった理由についても公表されています。不採択となった理由の多くは、

- ・新規性が不足(既存事業と類似している)
- ・既存事業とのシナジーがない
- ・計画の根拠が説明不足
- ・市場分析が十分でない

といったものでした。やはり事業計画という事業者の主観をどれだけ客観的な視点から補強・分析できているかという点がポイントになっているものと思われます。ちなみに、採択はされなかったが事業計画を策定することで自社の事業を考えるよい機会になったという意見もあり、支援金の有無にかかわらず、事業計画の重要

性を意識された事業者もおられたようです。

最後に、この事業再構築支援金は全5回の公募が予定されており、現在3回目の公募期間中となっています。現在検討している、これから検討しようとしておられる方がおられましたらぜひ一度ご相談いただければと思います。

●iDeCo（イデコ）～個人型確定拠出年金～

先日、学生時代からの友人達とリモート飲み会をした際に「車買ったり、家建てたり、子供育てたり、30代になって前よりもお金のこと真剣に考えるようになったな…」なんて話になりました。『みんな大人になったんだなあ』としみじみ感じると同時に『人生100年時代、私もライフプランを真剣に考えないとなあ』と思い、最近よく耳にする私的年金制度 iDeCo について調べてみました。

・iDeCo の概要

自分が拠出した掛金を、自分で運用し、資産を形成する年金制度です。掛金を60歳になるまで拠出し、60歳以降に老齢給付金を受け取ることができます。

また、掛金が所得控除されるため、所得税・住民税が安くなります。お金を銀行預金で置いておいても利息はほとんどつかない時代ですので、税金が安くなるだけでも十分にメリットがあり、税金面で得をしながら老後の資産形成を行えます。

ただ、60歳まで掛金を払い続けますので余裕資金で行うこと、また元本保証されない商品もあるので、リスクを考えて運用することが必要です。

・iDeCo の始め方

銀行・証券会社・保険会社などが取り扱っていますので、直接相談に行ったり電話したりして資料を送ってもらうこともできますし、忙しい場合はネットで始めることもできます。

・年末調整や確定申告は？

「小規模企業共済等掛金払込証明書」というハガキが届きますので、そちらを保管して、年末調整や確定申告の際に記載・添付するだけです。生命保険などと同じような形ですので、難しい手続きはありません。

※詳しくは、iDeCo 公式サイト (<https://www.ideco-koushiki.jp/>) をご覧ください。

(文責：田中 ひとみ)

●「お彼岸」ってなに？

今年も9月になり、まだまだ暑い日が続いていますが暦の上では秋です。今年の秋のお彼岸の中日（秋分の日）は23日です。お彼岸は年に2回春と秋にあり、春分の日、秋分の日を中日として前後3日を合わせた7日間がお彼岸の期間になります。

「彼岸」と言う言葉を調べてみますと、精選版日本語大辞典には「Paramita 波羅密多を漢語として意識した（到彼岸）の略。仏語。絶対の完全な境地、悟りの境界に至る修行。生きているこの世を此岸（しがん）として目標となる境界をかなたに置いたもの・・・」とあります。

そもそもお彼岸は日本独自の仏教行事で、お墓参りやお仏壇にお供え物をして手を合わせ、ご先祖様や自然に感謝をささげる期間とされていますが、日本以外の仏教国ではこのような習慣はないそうです。お供え物と言えば京都には美味しい和菓子がたくさんありますが、代表的な和菓子では、春には「ぼた餅」、秋には「おはぎ」それぞれの季節に咲く「牡丹」「萩」に因んでいるそうです。

(文責：田中 恵子)